

地域看護学講座／地域看護学領域

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	長谷川 美香	平成 11 年 4 月－
講師	北出 順子	平成 20 年 4 月－
講師	米澤 洋美	平成 20 年 4 月－
助教	石橋 佳奈	平成 26 年 4 月－

2. 研究概要

● 研究概要

地域看護学領域では、地域で生活する人々および健康課題を持つ人々の心身の健康の維持・向上への支援に貢献できる看護学研究を目指している。本領域では前年度からの研究テーマを継続し、次のような研究活動を行っている。

まず、地域での DV 被害者へのより良い支援をめざし、被害者支援に不可欠である多職種連携に焦点を当て、支援担当職員が感じている連携時の困難、連携の実態、そして担当職員の連携実践能力を高める教育プログラムの開発に取り組んでいる（基盤研究（C））。

次に、団塊世代男性が 2025 年に後期高齢者に突入するまでの基盤整備として退職した男性がスムーズに地域参加でき、介護予防にも繋がるための仕組みづくりについて就労から地域デビューに至るまでをスムーズにするコーディネータの存在の視点から研究している（基盤研究（C））。また、保健師が家庭訪問等で住民から受ける暴力の防止について組織対応の視点からの研究も行っている（厚生科研）。

上記以外にも、地域医療推進講座、地域医療プライマリケア講座と共同で、多職種チームで支える在宅医療・ケア実現のための IPE の推進に関する研究（COC 事業）、健康なまちづくりを目的として、地域住民の生活習慣病予防に関する健康行動及び健康阻害要因の解明とシステムづくり、訪問看護師のワーク・ライフ・バランスの実現に関する研究に取り組んでいる。

● キーワード

看護、看護サービス、ドメスティック・バイオレンス、団塊世代、住民からの暴力防止、生活習慣病予防、ポピュレーションアプローチ

● 業績年の進捗状況

「DV 被害者支援に関する研究」は、福井県および県内市町村の協力のもと、DV 被害者支援者を対象に、特に多機関、多職種との連携を中心とした研修プログラム（案）を実施し、その評価を分析中である。

「団塊世代男性の地域デビューと閉じこもり予防に関する研究」では、就労と地域参加の接点となるシルバー人材センター管理者にヒアリング調査を実施し、退職後の高齢者が社会参加しやすいプログラムについて検討した。また、関係機関のヒアリング調査および弁護士、精神科医を交えた検討の結果から住民からの暴力防止のための教材ならびに暴力防止マニュアル（第 2 版）を作成し、組織対応の必要性について関係機関および学会等で広く周知した。

「多職種チームで支える在宅医療・ケア実現のための IPE の推進に関する研究」では、本学医学科地域医療推進講座・地域プライマリケア講座、福井医療短期大学、県内の医療機関と連携し、COC 事業、高度実践専門職業人育成事業の一環として、多職種連携推進セミナーを 5 回開催し、計 150 名近い受講者があった。次年度も引き続き本事業を実施し、IPE 指導者養成を図っていく。

「健康なまちづくりを目的として、地域住民の生活習慣病予防に関する健康行動及び健康阻害要因の解明とシステムづくり」に関する研究では、福井県国民健康保険連合会と共に市町村支援事業を実施し、本支援事業の成果を明らかにした。また、美浜町との協働により 3 歳児の塩分摂取に関

するパイロットスタディを行い、幼児期からの生活習慣病予防に向けた減塩教育の準備を行った。

● **特色等**

地域看護学領域は、主として保健師教育課程科目を担当している。学部教育では、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護展開論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生看護管理論、産業保健論、国際保健論、在宅看護論、公衆衛生看護学実習(県・市町村実習)、在宅看護学実習、および基礎専門科目である健康科学論、看護学入門も一部担当している。また、卒業研究では、在宅看護、公衆衛生看護に関するテーマでの論文作成を指導している。

大学院教育では、地域看護学特論、地域看護学演習、地域看護学特別研究等の専門科目、及び共通科目である看護倫理、看護研究、災害看護専門看護師教育課程科目である災害看護学特論Ⅲの一部も担当している。

研究においては科学研究費補助金、COC 事業（地域コア教員）予算を獲得し、福井県および県内の市町村と協力し研究を推進している。地方自治体等と協働した研究を行うことにより、より具体的に当該自治体の健康づくりの施策化、および人材育成に貢献している。また、福井県の課題である在宅医療推進に向け、県内の医療機関と連携し活動を展開している。これらの成果は国内外の学会で発表し、研究成果を教育に還元している。

● **本学の理念との関係**

本学の理念の中でも、1) 特に高い倫理観の元、人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する教育・研究の推進、2) 地域の特色に鑑みた医学研究を行い、医療を実践する、という点を考慮し、研究、教育、地域貢献を行っている。

研究では、「地域での DV 被害者支援担当職員の連携実践能力を高める教育プログラムの開発」（基盤研究（C））、「団塊世代男性の退職後の地域デビューと閉じこもり予防を一体的に支援する体制の検討」（基盤研究（C））、「住民からの不当暴力やクレームに対峙する地域保健従事者の組織的管理安全管理体制の構築」（厚生科研）、「多職種チームで支える在宅医療・ケア実現のための IPE の推進」（COC 事業補助金）、地域住民の生活習慣病予防に関する研究を行っている。

これらの教育・研究は、県内地方自治体等と協働し、地域特性を鑑みたものである。特に学部教育では、実際に地域に出向き、住民と接することで地域の健康課題を見出す演習を設けるなど、地域により密着した教育を行っている。本学の中期目標にある『地域・社会へ貢献する実践活動を推進する』研究をまさに実践中である。

地域貢献としては、福井県、県内の市町村の各種委員会委員および委員長、専門職業人を対象とした研修会講師、DV 被害を受けた女性の自助グループの活動支援、公益社団法人福井被害者支援センターの運営等に携わっている。

3. **研究実績**

区 分		編 数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2009～2014 年分	2014 年分	2009～2014 年分	2014 年分
和文原著論文		7	4	—————	—————
英文論文	ファーストオーサー	0	0	0.000 (0.000)	0.000 (0.000)
	コレスポ ンデ ィングオーサー	0	0	0.000 (0.000)	0.000 (0.000)
	その他	0	0	0.000 (0.000)	0.000 (0.000)
	合計	0	0	0.000 (0.000)	0.000 (0.000)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：論文等

a. 国際会議論文

1381017

+Tomohiro Umemura, +Kh. Md. Shafuil Islam, +Md. Saiful Islam, 長谷川 美香, *日下 幸則, *寺崎 寛章, *福原 輝幸: A preliminary survey of residents for the project to prevail. Proceedings of 2nd International Conference, 268-273, 2014.02

(2) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1481001

北出 順子, +柏谷 美有紀, +板倉 麻美: 山村部地域住民の塩分摂取の実態. 第 44 回日本看護学会論文集 地域看護, 172-175, 2014.05

1481002

+吉川 峰子, 長谷川 美香: 在宅医療・ケア実践者が認識している連携時の困難 —多職種連携を促進するための研修内容の検討—. 日本看護学会論文集 地域看護学, 35-38, 2014.06

1481003

*川口 めぐみ, 長谷川 美香, *出口 洋二: 退院 1 年未満の統合失調症患者を介護している親の介護負担感の関連要因. 家族看護学研究, 20 (1), 2-12, 2014.09

1481004

+鳩野洋子, 米澤 洋美: 地域保健従事者に対する住民からの暴力被害と対応. 保健師ジャーナル, 70 (12), 1054-1058, 2014.12

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 一般講演（ポスター）

1481005

M. Hasegawa, +M. Yoshikawa, *O. Yamamura, *H. Terasawa: Difficulties identified by at-home care providers working with multidisciplinary professionals, 35 t h International Association for Human Caring Conference, 2014.05, Kyoto(Japan), International Journal for Human Caring, 18 (3), 2014.05

1481006

+M. Yoshikawa, M. Hasegawa, *O. Yamamura, *H. Terasawa: Difficulties of cooperation recognized by at-home care providers /givers — To clarify the content of trainings about how multidisciplinary professionals work together —, 35 t h International Association for Human Caring Conference, 2014.05, 2014.05

1481007

*M. Kawaguchi, M. Hasegawa, *Y. Deguchi: Factors related to caregiver burdens for parents of schizophrenic patients in Japanese provincial cities, 35th International Association for Human Caring Conference, 2014.05, 2014.05

1481008

M. Hasegawa, +M. Yoshikawa, *M. Kawaguchi, K. Ishibashi, *R. Natsuume: Promotion of cooperation among various agencies in support of victims of DV, 19th International Conference on Violence, Abuse and Trauma, 2014.09, 2014.09

1481009

H. Yonezawa, : Awareness of community involvement of male baby boomers living in the local cities of Japan immediately after their retirement 2, 46th APACPH Conference, 2014.10

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 一般講演（口演）

1481010

+平鍋 守正, +柏谷 美有紀, 北出 順子: 国保連合会を軸とした市町村保健活動支援 第1報 年間医療費の算出, 第54回全国国保地域医療学会, 2014.10, 岐阜, 抄録集, 167, 2014.10

1481011

北出 順子, +平鍋 守正, +柏谷 美有紀: 国保連合会を軸とした市町村保健活動支援 第2報 地域保健活動の障壁, 第54回全国国保地域医療学会, 2014.10, 岐阜, 抄録集, 167, 2014.10

1481012

+柏谷 美有紀, +平鍋 守正, 北出 順子: 国保連合会を軸とした市町村保健活動支援 第3報 保健事業の推進のために必要な国保連合会の役割, 第54回全国国保地域医療学会, 2014.10, 岐阜, 抄録集, 168, 2014.10

1481013

長谷川 美香, *夏梅 るい子, 石橋 佳奈, +関 睦美, +吉川 峰子: 訪問看護師の就業継続意思と職場組織風土、訪問看護志向性、WLB、健康状態との関連, 日本在宅ケア学会, 2014.11, 福岡市, 第19回日本在宅ケア学会学術集会講演集, 101, 2014.11

1481014

*竹島 裕恵, *濱田 知花, *前田 弥生, *大森 貞, 米澤 洋美: 大学病院における看護師が患者から受ける病力の実態, 第9回医療の質・安全学会学術集会, 2014.11, 千葉県

b. 一般講演（ポスター）

1481015

+吉川 峰子, 長谷川 美香, *夏梅 るい子, 石橋 佳奈, +関 睦美: 訪問看護師のワーク・ライフ・バランスおよび就業継続上の課題と必要とする支援, 日本在宅ケア学会, 2014.11, 167, 2014.11

1481016

米澤 洋美, +鳩野 洋子, +中板 育美, +佐野 信也, +野村 武司, +平野 かよ子: 住民からの暴力防止に向けた 保健従事者の安全管理体制の取組みの実際（事例分析）, 第3回日本公衆衛生看護学会, 2015.01, 神戸市, 抄録集, 2015.01

(3) 国内学会（地域レベル）

a. 一般講演（口演）

1481017

石橋 佳奈, *夏梅 るい子, 長谷川 美香, +吉川 峰子: 訪問看護師のワーク・ライフ・バランスに関連する要因, 北陸公衆衛生学会, 2014.11, 23, 2014.11

1481018

*夏梅 るい子, 石橋 佳奈, 長谷川 美香, *寺澤 秀一: 医学生・看護学生の在宅医療での「多職種連携」に対する意識に関連する要因, 北陸公衆衛生学会, 2014. 11

(4) その他の研究会・集会

a. 一般講演(口演)

1481019

*下川 幸代, *石田 真由美, *廣瀬 好子, 長谷川 美香: よりよい透析看護を目指して～透析患者の自覚症状と栄養状態に焦点をあて～, 第13回福井県血液浄化談話会, 2014. 04, 福井県

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間 (年度)	金額 (配分額)
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	地域でのDV被害者支援担当職員の連携実践能力を高める教育プログラムの開発	長谷川 美香	米澤 洋美, 北出 順子, 石橋 佳奈	2014	780 千円
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	団塊世代男性の退職後の地域デビューと閉じこもり予防を一体的に支援する体制の検討	米澤 洋 美	北出 順子, 長谷川 美 香	2014	650 千円
学内競争的資金	競争的配分経費・教育	平成26年度「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)	長谷川 美香		2014	753 千円
学内競争的資金	競争的配分経費・教育	看護基礎教育における看護実践能力修得のための教育・実習環境の充実	長谷川 美香		2014	150 千円

5. その他の研究関連活動

(A) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長(主査)・委員の別	氏名
保健師ジャーナル	委員	米澤 洋美

(B) その他

<報道>

- 長谷川 美香：デートDVどう防ぐ？ 講座で心構え学ぶ，福井，2014. 10. 16
- 北出 順子：減塩減量運動で3 1日の活動報告，1月31日に開催される美浜町健康づくりフォーラムの予告記事。，福井新聞，2015. 01. 09
- 北出 順子：健康増進活動成果は，美浜町健康づくりフォーラムの開催記事。北出は、「げんげん運動」モデル地区住民の成果発表シンポジウムの座長を務めた。美浜町内外から約100名が集った。，福井新聞，2015. 02. 03

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関・委員会の名称等	役職	氏名	期間
地方自治体	福井県，公害審査会	委員	長谷川 美香	2010. 11～
地方自治体	美浜町，健康づくり推進事業	アドバイザー	北出 順子	2011. 08～
地方自治体	福井県，介護保険審査会	委員	長谷川 美香	2013. 04～ 2015. 03
地方自治体	大野市	委員	長谷川 美香	2013. 07. 01～ 2015. 03. 31
地方自治体	福井県安全環境部環境政策課	委員	長谷川 美香	2013. 11. 01～ 2016. 10. 31
地方自治体	鯖江市，平成 25 年度介護予防関連事業評価委員		米澤 洋美	2014. 06
公益法人等	民間支援団体，DV 被害女性自助グループ世話人会	代表	長谷川 美香	2003～
公益法人等	一般社団法人，福井被害者支援センター	理事	長谷川 美香	2008. 12～
公益法人等	一般社団法人 福井県介護支援専門員協会，事例検討委員会	アドバイザー	北出 順子	2010. 08～
公益法人等	福井県看護協会，学会委員会	委員	北出 順子	2011. 04～
公益法人等	福井県看護協会，福井県訪問看護推進協議会	委員	北出 順子	2011. 10～
公益法人等	福井厚生病院，苦情解決第三者委員会	委員	北出 順子	2013. 11～ 2015. 10
公益法人等	金沢大学	委員	長谷川 美香	2013. 11. 21～ 2016. 03. 31
公益法人等	福井県国民健康保険団体連合会，保健事業評価推進会議	副議長	北出 順子	2014. 04～ 2015. 03

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
公開講座	高度専門職業人育成，在宅医療プロフェッショナル講座	福井大学，専門職業人，130人	長谷川 美香，*山村修，*黒田 有紀子
公開講座	美浜町健康づくりフォーラム，げんげん運動活動報告シンポジウム	美浜町，一般，100人	北出 順子
高大連携等	学部・学科説明会，学部・学科説明会	福井県立羽水高等学校，高校生，30人	長谷川 美香
講演・セミナー等	地域包括支援センター研修会	福井中央包括支援センター，専門職業人・一般，45人	北出 順子，米澤 洋美

講演・セミナー等	平成 20 年度老人・障害者福祉施設看護職員研修, 施設看護職員の役割とターミナルケア	福井県社会福祉協議会, 専門職業人, 40 人	北出 順子
講演・セミナー等	介護支援専門員スキルアップ研修会, ケアマネジャーの専門性確立のために～事例検討の基礎を学ぼう～	専門職業人, 100 人	北出 順子
講演・セミナー等	特定健診・保健指導実践者ステップアップ研修会, 特定保健指導の戦略的おすすめ方	専門職業人, 60 人	北出 順子
講演・セミナー等	特定健診・保健指導事業の企画・立案・評価	福井県国民健康保険団体連合会, 専門職業人, 40 人	北出 順子
講演・セミナー等	丹南地域保健福祉環境衛生関係職員等研修会, 事業の企画	福井県丹南健康福祉センター, 専門職業人, 15 人	米澤 洋美
講演・セミナー等	ほっと元気まつり後援会, 病気にならない食事のコツ	池田町, 一般, 60 人	北出 順子
講演・セミナー等	平成 25 年度東海北陸ブロック母子生活支援施設研究協議会「福井大会」, 看護の立場から見た DV 被害者について	専門職業人, 100 人	長谷川 美香
講演・セミナー等	配偶者からの暴力に関する「初任者研修会」, 福井県における DV の実態	福井県総務部男女参画・県民活動課, 専門職業人, 50 人	長谷川 美香
講演・セミナー等	デート DV 防止講座, デート DV とその予防	福井県, 専門職業人, 30 人	長谷川 美香
講演・セミナー等	デート DV 防止講座, デート DV ってなに? 対等な関係を築くために	福井県敦賀市松陵中学校, 中学生, 177 人	長谷川 美香
講演・セミナー等	福祉総合相談所公開セミナー, DV に関すること	福井県永平寺町社会福祉協議会, 一般, 30 人	長谷川 美香
講演・セミナー等	デート DV 防止講座, デート DV ってなに? 対等な関係を築くために	福井県敦賀市栗野中学校, 中学生, 252 人	長谷川 美香
講演・セミナー等	DV 窓口関係担当者研修会, DV 被害者支援時の心構え	専門職業人, 50 人	長谷川 美香
講演・セミナー等	第 3 回日本公衆衛生看護学会ワークショップ, 住民からの不当暴力の防止	専門職業人, 60 人	米澤 洋美, +中板育美, +平野かよ子, +鳩野洋子, +野村武司, +佐野信也
講演・セミナー等	保健福祉等職員研修会, これからの人材育成について	坂井健康福祉センター, 専門職業人, 10 人	米澤 洋美
講演・セミナー等	地域保健従事者に対する住民からの不当な暴力・リスクマネジメント, 福井県庁保健師研修会	専門職業人, 40 人	米澤 洋美

(B) その他業績

<ul style="list-style-type: none"> 長谷川 美香, *山村 修, *黒田 有紀子: 平成 26 年度 COC 事業, 多職種連携による地域医療推進セミナー, 2014. 08~2015. 03
--